

研究主題

「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

～雲南市立斐伊小学校区の取組～



雲雲南市立斐伊小学校
雲南市立斐伊保育所
雲南市立認定こども園 斐伊こども園

(協力) 社会福祉法人 四ツ葉学園 四ツ葉学園保育所

はじめに



はじめに

雲南市立斐伊こども園

R4在籍児数：29名 5歳児：10名

雲南市立斐伊保育所

R4在籍児数：53名 5歳児：9名

社会福祉法人 四ツ葉学園保育所

R4在籍児数：91名 5歳児：18名

その他の幼児教育施設

研究指定を受けた3施設
8割

雲南市立斐伊小学校

全校児童数：149名

R4年度1年生：31名

通常の学級：6学級

特別支援学級：3学級

主題及び協議の受け止め

〔課題〕 幼稚園・保育所・認定こども園の7～9割が小学校との連携に課題意識、各園・各小学校における連携の必要性に関する意識の差

心のハードル（精神的な垣根）

職員同士

交流機会を増やす

子ども同士

風通しの良い関係

研究の動機（目的）

- 特別な教育的ニーズのある子どもたち
 - 1クラスの5分の2
- 登校をしぶる子どもたち
 - 2学期になって集団登校できなくなったYさん

ニーズの早期把握

段差の改善

幼小連携の推進

校区の強み
（近隣に3つの幼児教育施設）

研究の体制：全校体制で取り組みたい

「だれもが担任」

「幼小連携」を校内研究として取り組むことに理解が得られるか？

「特別支援教育」に係るテーマなら理解が得られるはず！

「発達の連続性」でとらえよう！

基本的な考え方（主題の受け止め）

職員同士の
交流機会を増やす

「心のハードル」が
低くなる

情報共有が
しやすくなる

子どものよりよい
育ちにつながる

「小学校は隣だけど、
とっても遠い気がします」

改善

子ども同士の
交流機会を増やす

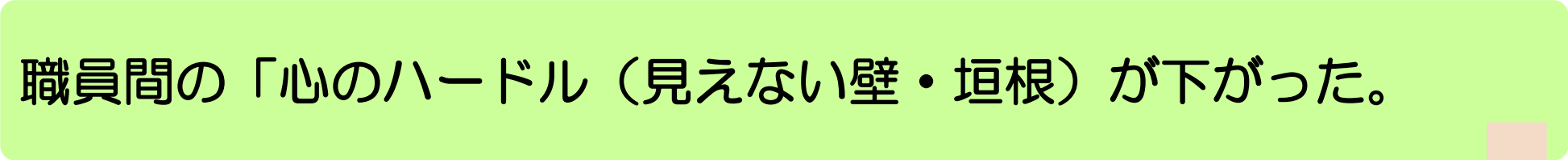
「心のハードル」が
低くなる

小学校生活を
楽しみに思う

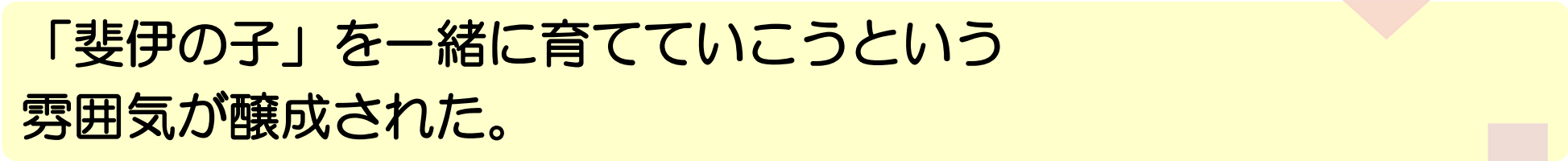
学校生活に
適応しやすくなる

2年間の取組によって

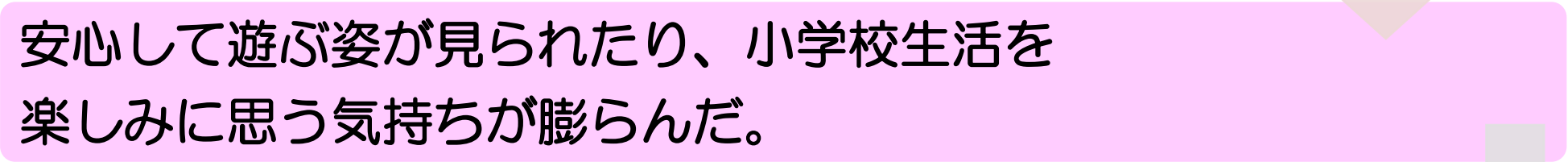
職員間の「心のハードル（見えない壁・垣根）が下がった。



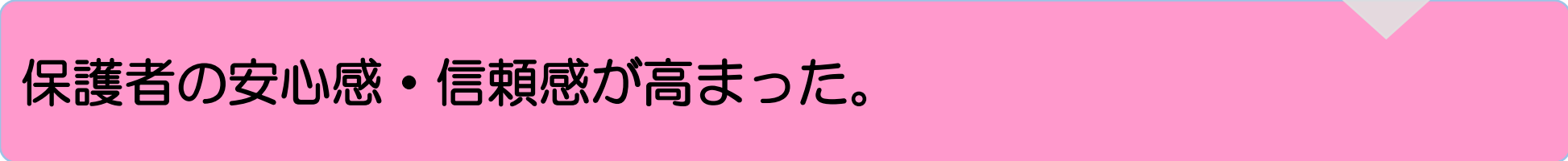
「斐伊の子」を一緒に育てていこうという
雰囲気醸成された。



安心して遊ぶ姿が見られたり、小学校生活を
楽しみに思う気持ちが膨らんだ。



保護者の安心感・信頼感が高まった。



取組の概要

職員同士が互いの
保育観や教育観が
分かるようになって
から作成に取り
掛かった。

- 顔写真交流
- 全教員による幼児保育施設訪問
- 合同研修
- 栄養教諭による保育所調理室での自主研修
- 保育公開日・学習公開日・校園所内研修の相互案内
- 接続カリキュラム作成**・スタートカリキュラム修正
- 幼児と児童の交流（5歳児と1年生・5年生）



合同研修会

おすすめの取組

R2 夏期合同研修会

- ① 斐伊保育所での保育参観
- ② グループワーク
 - ・ 幼児期が終わるまでに育ってほしい「10の姿」で分類



R3 夏期合同研修会

- ① 斐伊こども園での保育参観
- ② グループワーク
 - ・ 斐伊小の3つの「目指す子ども像」で分類



2つの夏期合同研修会のポイント

1. 「ステキ見つけ」

- 偏った特別支援教育では「気になる姿」ばかり見てしまう。
- 「ステキ見つけ」を繰り返すと、「強み」を生かすことを考えたり、「できていること」をさらに伸ばすことを考えたりするようになる。
- 「ステキ見つけ」をすると、幼児教育の魅力や意義、奥深さなどに気づくことができる。

2. 同じ時に、同じ場で、同じ子どもを見る。

- 話が弾み、親しくなれる。
- 互いの保育観や教育観などについての理解が進む。

1年生と年長児との交流

生活科「あきいっぱい たのしい おみせやさん」

- すすんで元気よくあいさつし、わかりやすく遊びの説明をする。
- 年長さんに「してあげる」ではなく、いっしょに遊びをたのしむ。
- 年長さんのいいところを見つけて、お店や感想発表のときにつたえる。
- 同じお店の友だちと協力する。



運動会に向けての生活

～ 同じ時間に、同じ場所で ～



取組の力ギ

1. 管理職の連携・協働
 - ・ 定例管理職会
2. 全校体制
 - ・ ファイル所持
3. やらない理由を探さない
できる方法を考える

のよてい(4/26(げつ) ~ 4/30(えい)

ートカリキュラム《来週のねらい》教科の学習
遊びにがんばって取り組むことができる。

にち(げつ)	27にち(か)	28にち(すい)
	新なかよし班での そうじ開始	セーフティーリ ダーの委嘱式 (8:20~8:35)
んすう おなじかずのなか をさがそう	こくご ・あめですよ ・ひらがなをかこう	さんすう ・かずをかそえ ・せんでむすは
こくご ・ことはあつめをし よう ・ひらがなをかこう	さんすう ・6~10のかずを かこう	せいかつ ・なかよしだ (1・2ね)
たいいく ・たのしくからだを	ずこう ・ねんととなかよし になろう	せいかつ ・なかよし (1・2ね)

接続期の子どもを支えるもの

「一番印象に残ったのは『たくさんの大人に見守られながらも、子どもたちが安心して遊びこんでいた』というところ」

（合同研修会後の感想より）

「小学校から案内が来るんですね。卒園しても1年生のことを気にかけてもらってありがとうございます。うれしいです。斐伊保育所でよかったです。」

（授業公開日で出会った保護者の声）



今後の課題

- 連携・接続の取組を継続していくこと
- 取組の成果を経年で検証すること
- 『安心感とワクワク感』



ご清聴ありがとうございました



園児を応援する小学生

令和4年10月8日
斐伊こども園運動会にて